

川場温泉 かやぶきの源泉湯宿 悠湯里庵

Kawaba Onsen Kayabukino Gensen Yuyado Yutorian
(群馬県川場村)



久しぶりに川場スキー場へやってきた。川場スキー場と言えば、首都圏から 150 km、2 時間の距離で、パウダースノーが味わえる場所として知られている。しかし、それは逆の言い方をすれば、それだけ気象が激しいということである。この日も気温は低く、霧が出て、風が吹き荒れ、雪が舞っていた。

上級者にとっての川場スキー場の醍醐味は、コブである。無名峰ダウンヒルと無名峰トライアルという 2 つのコースがあり、前者は基礎スキーヤー向け、後者はモーグラー向けである。そして上部にはプチコブのような練習バーンもあった。モーグラー向けのコブは完璧に整備されており、誰もが無料で利用できる。そしてそれほど斜度がないので、練習にはもってこいだ。

コブは楽しい。練習すればするほどうまくなるからだ。しかし、疲れる。疲れたら温泉。というわけで、今回紹介するのは川場スキー場から沼田 IC への帰り道に立ち寄れる悠湯里庵（ゆとりあん）を紹介する。

悠湯里庵は古い建物を利用した温泉であり、宿泊施設であり、レストランでもある。これらの建物はほとんどが移築されたものであるという。

浴室は建物の中に入って右奥にある。脱衣室の前には骨董品の展示があり、来る者を楽しませてくれる。脱衣室にはヘアリキッド、ヘアトニック、スキンミルク、綿棒、櫛などのアメニティーがそろっている。洗面台は 5 個、ドライヤーは 6 個、脱いだ物を入れる籠は 33 個、ロッカー（100 円返却式）は 20 個ある。

浴室は前室を経由して入る。浴室の内装は石と無垢の木を使っていて、上からはスリットのような明り取りがあり、まばゆい光が差し込んでいる。浴室入口右側に上がり湯、洗い場があり、左側に浴槽がある。

洗い場は仕切りがしっかりしており、個室に近い造りだ。シャンプー、コンディショナー、ボディークリームは完備している。椅子と桶は木製。椅子はとても重い。

浴槽は2つあり、それぞれゆるめと適温だ。ゆるめの浴槽につかり、天井の光を眺めるのがおすすめだ。何も考えなくてもいい。ただ、スキーをして温泉に入れる幸福に感謝である。露天風呂は少々カリキ臭いのであまりお勧めしない。サウナ、水風呂はない。

ちなみに悠湯里庵の湯は、アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

温泉を出た後は、田園プラザという名の道の駅へ。川場と言えばこの道の駅が有名である。しこたまおいしい物をお土産に買いこみ、渋滞の関越道へ。心はすでに次のグレンデと温泉へ向かっている。

川場にはまだまだ他にも温泉がある。いずれ紹介したい。

DATA

名称	川場温泉 かやぶきの源泉湯宿 悠湯里庵
所在地	群馬県利根郡川場村川場湯原 451-1
電話	0278-50-1500
営業時間	10:30~20:00
定休日	無休
入浴料	大人（中学生以上）1,200円、小人（3歳以上小学生以下）700円、3歳未満無料 宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2018年2月11日（日）
取材	銭湯愛好会東京支部